



ライディングスクールレポート

Report 2010

ライディングスポーツガレージ

RIDING SPORTS
GARAGE

九州で活躍する国際ライダーの東野選手がインストで参加。スクール出身です。



九州で活躍する国際ライダーの岡村選手がインストで参加。こちらもスクール出身です。



希望者によるスターティンググリッドからのフリー走行開始にドキドキ



タンデム走行は皆さん目から鱗のようです。へへこんな風に走ってたんだ!!



一緒に走ってラインを覚えて下さいね!



今回はフォームがテーマです。フォームは奥が深いですね。



ここで恒例の「Dr.ミナキ誌上ライディングチェック」です!

● ● ● 皆さん自分のフォームをチェックしてみてください。 ● ● ●

ブレーキング時には...???



両腕をしっかり伸ばしているから体が前に倒れないから怖くないし、ブレーキにもしっかり耐えられるぜ! <へへ>



両腕を少し曲げ気味にしてブレーキの慣性に対応しているよ! (^.^)v

...正解は???

もちろん正解はB君。ステアリングはいつも自由に動かし、怖くないようにしなければなりません。フロントタイヤの接地感を掴むためにも肘が伸びているのはNG。そして腕を曲げて耐えるには、ニーグリップでしっかり下半身をホールドし、腰筋と背筋で上半身を支えなければなりません。フォームの修正はこんな事を気付かせてくれます (^.^)。

コーナリング時には...???



上半身を起こし気味にしているからバンクも怖くないし、内側の腕で体を支えているから上半身も安定してGOODさ! <へへ>



頭はタンクキャップの延長線上にあり、内側の腕は少し曲がり、外側の腕は伸び気味。アウト側の膝でタンクをしっかりとホールドしているから内側の腕に力が入っていないよ! (^.^)v

...正解は???

もちろん正解はB君。前者はバンクが怖い人に多いフォームです。怖いと中途半端なバンク角になりやすく、その状態では今のスーパースポーツのステアリングはイン側に「切れよう切れよう」とするため無意識にハンドルを押そうとする力が入る事があります。またアウト側の下半身のホールドが甘く体が落ち気味になるため体をハンドルで支えてしまい、その結果マシンのセルフステア(ハンドルがイン側に切れようとする動き)を殺しているケースも多いようです。フォームを修正するとアウト側のホールドの大切さに気付くでしょう (^.^)。

さあ皆さん今一度自分のフォームをチェックしてみてください(^.^)!

サイドスタンドを立ててコーナリングフォームを作りホールドの仕方などを確認してみるといいと思いますよ。ではバイクプロスライディングスクールでお待ちしています(^o^)/



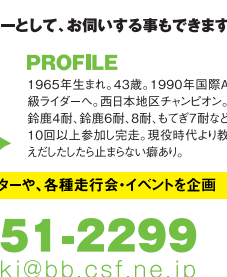
RSG HPはコチラ

<http://rsg-sports.com/>Pick-UP
NEWS

レンタルツナギ有ります!! レンタル料:3,000円

※数に限りがあります。詳しくは下記「RSG」にお問い合わせ下さい。

「参加したいけどツナギが無い…」ご心配なく! RSGではレンタルツナギをご用意しております。



ライディング・スポーツ・ガレージ R・S・G ショップさん主催の走行会などに、インストラクターとして、お伺いする事もできます

皆木 栄人

PROFILE

1965年生まれ。43歳。1990年国際A級ライダーへ。西日本地区チャンピオン。鈴鹿4耐、鈴鹿6耐、8耐。もてぎ7耐など10回以上参加し完走。現役時代より教えだしたら止まらない癖あり。

ライディング・スポーツ・ガレージ(R・S・G) 代表・SPA直入インストラクターや、各種走行会・イベントを企画

R・S・G TEL:092-951-2299

福岡県筑紫郡那珂川町西隈4-1 e-mail:j-minaki@bb.csf.ne.jp



BikeBros.

詳しい御案内などはHSR九州のホームページを参照下さい。

URL:<http://www.hsr.jp/>